



Junior Drive  
Shiraiishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38  
Luca ed ombra

FTK corporation



PAINT BY  
O·N·O.inc

River inc.



## 三浦柚貴がFRJデビュー戦で初優勝！

1期生の三浦柚貴（18）が、今シーズンから参戦するFORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP (FRJ) の開幕戦 鈴鹿大会で初優勝を果たしました。

三浦は昨シーズンのFIA-F4から一つ上のカテゴリへステップアップを果たし、今シーズンはTOM'S TGR-DCからFRJにフル参戦することが決まりました。そのデビュー戦となる鈴鹿大会が行われました。木曜日のフリー走行からトップタイムを記録するなど好調な走り出しとなりましたが、金曜日最後のフリー走行では3番手タイムに沈み、不安を残す形で土曜日の予選を迎えました。

土曜は予選とレース1が行われます。まずはスターティンググリッドを決める予選が始まります。予選は2回行われ1回目のベストタイムがレース1のグリッド。セカンドベストが日曜日のレース3のグリッドに反映されます。2回目の予選は日曜日のレース2のグリッドになります。三浦は一発のタイムこそ出すことはできなかったものの、セカンドベストが好タイムを記録し、レース1は3番手グリッド。レース2は2番手グリッド。レース3はポールポジションを獲得しました。

午後に入りレース1が始まります。三浦にとって初めてのFRJのレースが始まります。フォーメーションラップを終え、全車グリッドに整列しました。シグナルが消えレースがスタート。三浦は抜群のスタートを決め、3番手から一気にトップに躍り出ます。そこから2番手以下を大きく引き離すも終盤に後方からライバル選手に迫られる展開に。しかし三浦も最後まで集中力を切らさず、首位をキープしたままレースはフィナルラップへ。チェッカー目前の最終コーナーで並びかけられるも100分の数秒差でトップチェッカーを受け、三浦のレースキャリアにおいて初の優勝を手に入れました。

日曜日、朝のレース2が始まります。三浦は2番手グリッドからスタートします。シグナルが消えレースが始まりました。三浦はまたも好スタートを決めるもトップの選手もトップを守り切り、三浦は2番手でオープニングラップを終えていきました。トップを走るのはレース1で三浦とトップ争いを繰り広げた同じ選手。追う側、追われる側が昨日とは逆の立場でレースが進んでいきます。三浦も前の選手に食らいつきプレッシャーを掛け続けるも、最後までトップの選手も首位を守り抜き、僅差で三浦が2位でフィニッシュしました。

午後に入り、レース3が始まります。三浦はポールポジションからのスタートとなります。レースが始まり、得意のスタートを決めてトップで1コーナーをクリアしていきます。ここから三浦はペースを上げて2位以下を大きく引き離しに掛かります。3秒以上のリードを広げて、トップを快走していきます。ラスト2周のところでマシントラブルが発生しペースが落ちるも、序盤に開いたリードでトップを守り切り、今季2勝目を飾りました。三浦はランキング首位で開幕ラウンドを終え、幸先の良いシーズンのスタートダッシュを決めました。またジュニアドライビング生として初めての公式レースでの優勝者となりました。

